



小田原地下街「HaRuNe小田原」・11月1日OPEN

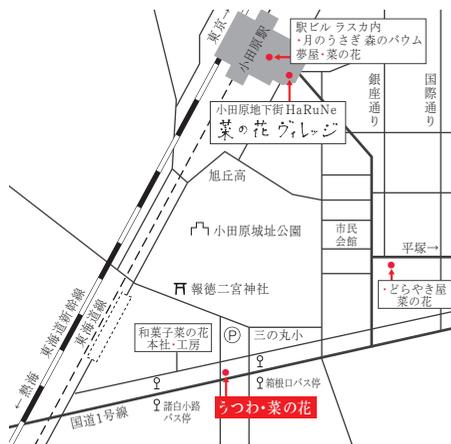
## ・菜の花 ヴィレッジ

・和菓子菜の花・菜の花ムーンカフェ・菜の花暮らしの道具店

いつも菜の花をご愛顧いただき、ありがとうございます。  
このたび長年みなさまに親しまれてきた、和菓子菜の花お城通り店を、小田原地下街「HaRuNe小田原」内に移転することに致しました。

新店舗は、菜の花ヴィレッジと名づけました。  
工房を備えた「和菓子菜の花」こだわりのコーヒー「菜の花ムーンカフェ」、「菜の花暮らしの道具店」の三店が一つになって動く予定でおります。  
どうぞ楽しくご利用ください。皆でお待ちしております。

11/15-11/24、菜の花暮らしの道具店での第一回企画として、「仁城義勝の漆展」を開催します。  
どうぞお楽しみに。



小田原駅東口より箱根方面へ向かうバス利用  
【箱根口】バス停下車徒歩3分

次回展示のご案内

- ・11月15日(土)～11月24日(月) 仁城義勝/漆  
小田原地下街HaRuNe 菜の花暮らしの道具店
- ・12月6日(土)～12月14日(日) 辻和美/ガラス  
うつわ・菜の花

写真:杉本光俊

## ・ UCHIDA KOUICHI EXHIBITION

・ 2014年10月25日.土 — 11月2日.日 10月29日(水)定休

・ 作家在廊日 25日、26日

・ 10月25日 17:00より 内田 鋼一「茶碗の話」

お申し込みは 0465-24-7020 (うつわ 菜の花)



朽木手黒釉燻変茶盃 正面



朽木手黒釉燻変茶盃 側面

内田 鋼一さんから茶碗がとどいた。  
朽木の穴窯でつくられたものにちがいない。  
口もとのくつろぎ方が悪くない。  
こげ茶色の力強い色である。  
いままでにはない色あいである。  
ひとつだけポツンとやってきたが、なかなか良いものに変わってきている。  
どうも日本人だけが思いつきよくなおし、ふさわしくなおすすめだ。  
見た目だけでなく、気持ちが入ってくるんだ。  
誰にもじやまされず、さわやかなるのだ。  
一碗のかけから、それは時の流れではなく、  
一瞬にすることがなされるのである。  
今日、10月9日の夜、やっと鋼一さんと話ができた。  
これから朽木でつくったものが焼かれると聞いた。  
つぼや食器、酒器が焼かれ花入れが届くと言う。  
そこで今回は、お茶、茶碗の話でも聞きたいと思った。  
皆さんどうだろう。

うつわ 菜の花 店主・高橋 台一

うつわ 菜の花

小田原市南町1-3-12 電話(0465)24-7020 <http://utsuwa-nanohana.com/>